

ネットワーク ターミナル ユニット

AS-CC100

取扱説明書



aileun

目次

はじめに

設置・設定編

操作編

本体IPアドレス設定ツール編

付録

・ ネットワーク ターミナル ユニット概要	3
・ システム構成例	4
・ 付属品をご確認ください	5
・ 商標および登録商標について	5
・ GPL/LGPL/MITについて	5
・ 著作権について	5
・ ネットワークに関するお願い	5
・ 免責について	6
・ 安全上のご注意	6
・ 取扱上のお願い	7
・ 各部の名称と働き	9
・ 本体設定	14
・ センサー出力設定	17
・ 送信先デバイス設定	18
・ センサー動作設定	19
・ システム管理	22
・ 各種ログ	29
・ 送信コマンドリスト編集	31
・ センサー動作確認	32
・ センサー入出力の接続	33
・ センサー入力仕様	35
・ 電源を入れる・電源を切る	36
・ センサー信号の入力でCGIコマンドを送信する	37
・ センサー信号を出力する	37
・ 動作状態を確認する	37
・ 工場初期化	38
・ 設定ツールのインストール	39
・ 設定ツールの使い方	41
・ 仕様	43
・ 外観図	44
・ コマンド表	45
・ 無償修理規定	48
・ 修理を依頼されるときは	48
・ お客様ご相談窓口のご案内	48

本書中に記載している情報は、2025年11月現在のものです。
最新の情報は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

はじめに

■ ネットワーク ターミナル ユニット概要

AS-CC100(以下、本機)は「ネットワーク」と「端子入出力」を制御するユニットです。

端子入力を受信してHTTP(S)コマンド(以下、CGIコマンド)を送信したり、ネットワークから指定のCGIコマンドを受信して端子出力を行うことができます。

また、本機を2台ご使用いただくことで遠隔での端子入出力を制御できます。

特徴

・複数接点入力・複数接点出力

本機は接点の「入力」および「出力」を、「各 4 接点」搭載しているため複数の動作が可能です。

接点入出力は、それぞれ独立して動作することができます。

・入力端子「オン」「オフ」毎に個別のコマンド送信が可能

本機は入力端子の「オフ」→「オン」変更タイミングと、「オン」→「オフ」変更タイミングにて別々のコマンド送信が可能です。

「オフ」→「オン」時にアラーム発報を行い、「オン」→「オフ」時にその復帰動作を行うなど、用途に合わせて受信機器のきめ細かい制御が可能です。

・WEB ブラウザー設定・状況確認

本機の設定は、「WEB ブラウザー」から行います。視覚的なインターフェースにより、速やかな設定が可能です。

また、WEB ブラウザーによる各種入出力状況、および CGI コマンド送信状況などの確認や、接点入出力の疑似送信を行うことも可能です。

複数 CGI コマンド送信が可能

本機は 1 つの接点入力から「CGI コマンド」を「最大 16 送信」することができます。複数送信を行うことで、複数の受信機器を制御したり、1 つの受信機器に複数のコマンドを送信したりすることができます。また、CGI コマンドの代わりに送信の待ち時間を設定することができるため、1 つの機器に時間において複数のコマンドを送信することも可能です。

・PoE[Power over Ethernet]・AC アダプター両対応

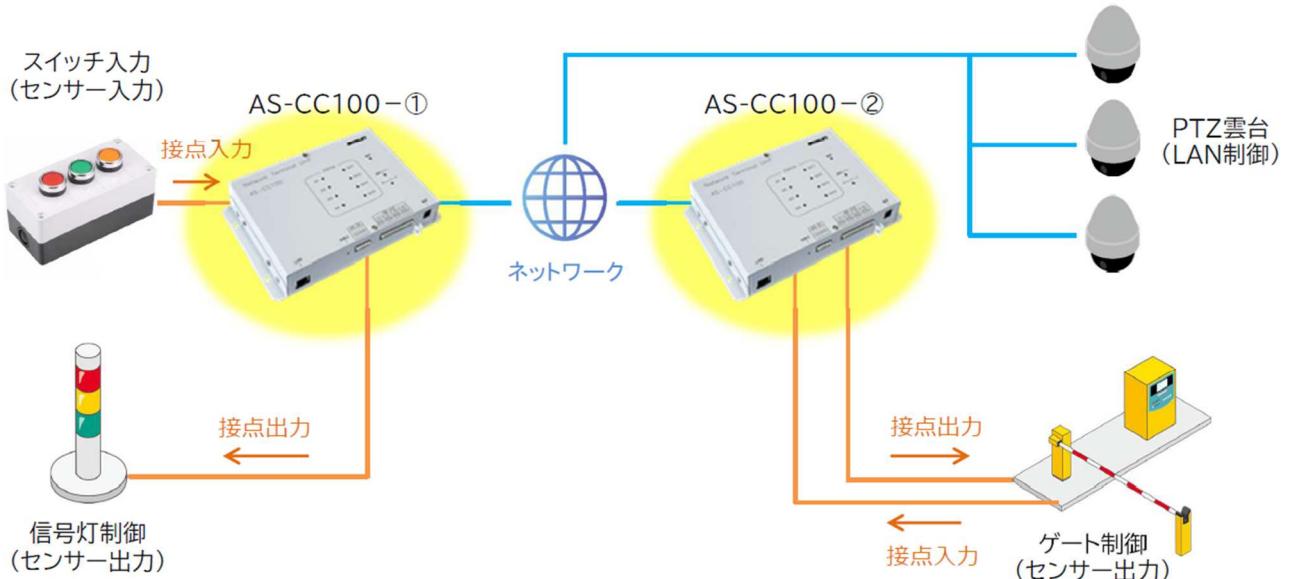
本機の電源は、「PoE 電源」または「AC アダプター電源」の 2 種類に対応しているため、用途に合わせて使い分けることができます。

設置場所により、PoE 給電が確保できない場合は、別売りの AC アダプター(AS-CC140AD)をご利用いただくなど、設置環境に合わせた運用が可能です。

■ システム構成例

構成例

○ カメラ検知・プリセット移動とゲート操作例



AS-CC100を2台使用することで、接点信号の受け渡しやネットワーク機器の同時制御が実現できます。

- ① カメラの検知機能を利用し、入り口に車両が到着したことを検知します。
 - ・検知したカメラから [AS-CC100-①] へCGIコマンドが送信されます。
 - ・CGIコマンドを受信した [AS-CC100-①] のセンサー出力により信号灯が点灯します。
- ② 信号灯の点灯により、車両の到着を確認したらスイッチ1を押します。
 - ・[AS-CC100-①] から複数のカメラへプリセット移動CGIコマンドを送信します。
 - ・プリセット移動したカメラ映像で、車両のナンバー・運転者を確認します。
- ③ カメラ映像を確認し、問題なければスイッチ2を押しゲートを開けます。
 - ・[AS-CC100-①] から [AS-CC100-②] へセンサー出力オンのCGIコマンドを送信します。
- ④ カメラ映像で車両の通過を確認したら、スイッチ3を押しゲートを閉じます。
 - ・[AS-CC100-①] から [AS-CC100-②] へセンサー出力オフのCGIコマンドを送信します。
 - ・[AS-CC100-①] から各カメラへプリセット移動のCGIコマンドを送信します。
- ⑤ ゲートが閉じたら、信号灯を消灯します。
 - ・[AS-CC100-②] から [AS-CC100-①] へセンサー出力オフのCGIコマンドを送信します。

■ 付属品をご確認ください

- ・取扱説明書ダウンロードのご案内 1枚

■ 商標および登録商標について

- ・Microsoft Edge および Windows は、マイクロソフトグループ企業の商標です。
- ・Adobe、Acrobat Reader は、アドビシステムズ社の商標です。
- ・QR コードの商標は、デンソーウェーブの登録商標です。
- ・Aileun およびエルーアは、株式会社エルーア・システムの登録商標です。
- ・Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

■ GPL/LGPL/MIT について

- ・本製品には GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、MIT その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれます。
- ・お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL、LGPL または MIT に従い、複製、領布および改変できます。
- ・なお、ソースコードの内容などについてのご質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

MIT ライセンス全文 URL:<https://opensource.org/licenses/mit-license.php>

■ 著作権について

GPL/LGPL/MIT その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、本機に含まれるソフトウェア(当社が許諾を受けているソフトウェアを含みます。なお、当該第三者を以下「原権利者」とします)の著作権は、当社、および原権利者に帰属し、ソフトウェアの譲渡・コピー・逆アセンブル・逆コンパイル・リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本機に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

■ ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受ける可能性が考えられます。

- (1)本機を経由した情報の漏えいや流出
- (2)悪意を持った第三者による本機の不正操作
- (3)悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策を含め、ネットワーク・セキュリティ施策を充分に行ってください。

- ・ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する
- ・管理者設定は、定期的に変更する

■ 免責について

- ・弊社は如何なる場合も、以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 - (1) 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的阻害、および被害
 - (2) お客様の誤使用や不注意による損害または本機の破損など
 - (3) お客様による本機の分解、修理または改造がされた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
 - (4) 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、接点情報の通信ができないことで被る不便・損害・被害
 - (5) 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
 - (6) お客様による通信情報などが、何らかの理由により公となりまたは使用され、その結果、個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とする如何なる損害賠償請求、クレームなど
 - (7) 本機に登録した情報・内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

■ 安全上のご注意

本書は、「設置・設定編」、「操作編」、「本体IPアドレス設定ツール編」、「付録」の4部からなっています。

本書の中で人への危害、財産への損害を防止するために、下記のような目印をつけています。

これを無視した誤った使い方は、事故や損害の危険がありますので、十分ご注意ください。

本機の仕様やご注意に関しては、巻末をお読みください。

本書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としており、予告無しに変更される事があります。

また、本書には正確な情報を記載するようにしておりますが、万が一、誤りや不正確な記述があったときにも、弊社はいかなる責任、責務も負わないものとします。



禁止

してはいけない「禁止」内容です。



注意

負傷や損害等が発生する可能性が想定される内容です。



情報

作業・操作時に参考になりそうな内容です。

■ 取扱上のお願い

使用上のお願い

使用電源

PoEでご使用の場合には、ご使用のHUBの電源供給能力にご注意ください。

本機は、PoE(IEEE802.3af Class0)に対応しています。

本機専用ACアダプターをご使用の場合には、消費電力の大きな機器(コピー機、空調設備など)と同じコンセントから電源を取らないようにしてください。また、水滴や水しぶきのかからない場所で使用してください。

別売りのACアダプター(AS-CC140AD)は本機専用です。火災・感電を引き起こす原因となるためAC100Vで使用してください。

使用温度範囲

本機の使用温度範囲は 0°C～+50°Cです。この温度範囲外で使用すると、内部の部品に悪影響を与えて、誤作動の原因となります。

結露について

結露が発生すると故障の原因になりますので、ご注意ください。

以下のような場合は、数時間程度放置して、結露がない状態にしてください。

- ・ 湿度の高いところ。
- ・ 暖房した直後の部屋。
- ・ 冷房されているところから、温度や湿度の高いところに移動したとき。

お手入れについて

- ・ 電源を切り、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ・ アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性の高いものは使用しないでください。
- ・ 科学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

振動や衝撃について

本機は精密機器ですので、取り扱いには十分ご注意ください。振動や衝撃を与えると故障の原因となることがあります。本製品を輸送する場合は、ご購入時に使用されていた梱包材を使用するようにしてください。

異常時の処理について

万一、内部に水などが入った場合は、電源をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

また、電源部や内部に触れると火傷、感電、故障の原因となるため、本装置のケースを外さないでください。

内蔵バックアップ電池

内蔵バックアップ電池の消耗目安は5年です(使用条件によって異なります)。5年を目安に交換してください(ただし、この期間は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません)。

寿命が過ぎると、電源を切ったときに時刻設定の内容などが保存されません。内蔵バックアップ電池を交換する際は、お買上げの販売店にご相談ください。

設置上のお願い

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。本機は屋内専用です。

以下の場所には設置しないでください

- ・直射日光の当たる場所
- ・振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- ・大型のスピーカーや磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- ・結露し易い場所、温度差の激しい場所、水気(湿度)の高い場所
- ・厨房など蒸氣や油分の多い場所
- ・傾斜のある場所
- ・ほこりが溜まりやすい場所
- ・水滴や水しぶきがかかる場所
- ・本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所



熱のこもりやすい小型のボックスや、直射日光があたり内部の温度が上昇する屋外の収納箱などへの設置には、内部温度に十分気を付けてください。

電源がオフの状態で配線の接続/取り外しをしてください

本機の配線を接続/取り外しするときは、電源状態表示LEDが消灯していることを確認してください。

雑音源は避けてください

電灯線や冷蔵庫など雑音源にケーブルを近づけると、センサー入出力信号に影響がでることがあります。

そのときは、雑音源からできるだけ離すように配線する、または本機の位置を変えてください。

低温環境下での使用

動作環境が 5°C 以下の場合には、本製品の電源を常に入れたままの状態でご使用ください。

設置場所について

本機は、水平・垂直どちらでも設置可能です。

垂直に設置するときは、別売りの専用マウント金具(AS-CC130MB)をご利用ください。

電源に関するご注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。

故障、断線の恐れがありますので、ご注意ください。

本機専用の AC アダプター以外は使用しないでください。

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。

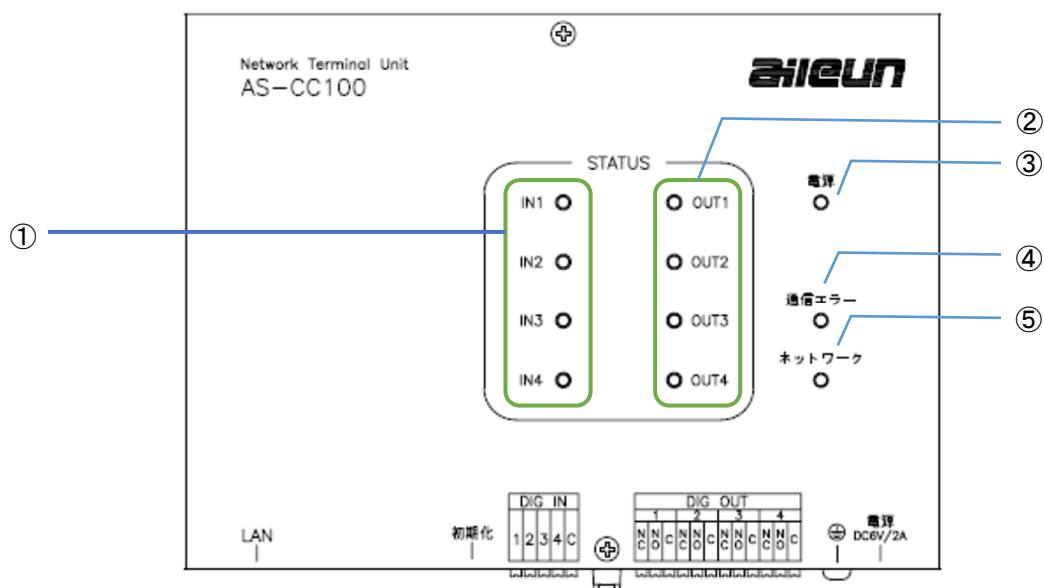
感電の恐れがありますので、ご注意ください。

長時間ご使用にならない場合は、電源をオフにしてください。

設置・設定編

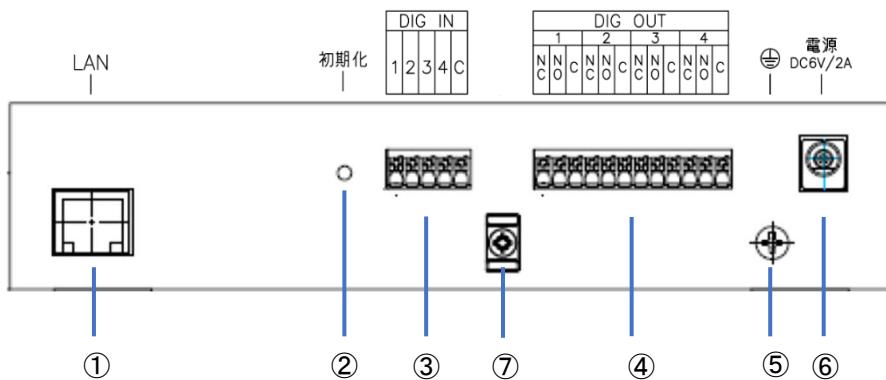
■ 各部の名称と働き

正面



- ① IN1～4LED : センサー入力の状態を表示する LED です。
センサー入力がクローズのときに緑色点灯します。
- ② OUT1～4LED : センサー出力の状態を表示する LED です。
センサー出力がオンのときに緑色点灯します。
- ③ 電源LED : 電源の状態を表示する LED です。
電源オンのときに点灯します。
起動中は点滅します。
- ④ 通信エラーLED : CGI コマンドの送信異常状態を表示する LED です。
本機から CGI コマンドを送信したときに、受信デバイスにて応答異常が発生すると
10 秒間点灯します。
- ⑤ ネットワークLED : LANコネクターのリンク状態を表示するLEDです。
LANコネクターがリンクアップしているときに緑色点灯します。

背面



- ① RJ-45 : 本機とハブを接続します。
Ethernet 端子 PoE に対応しています。
- ② 初期化ボタン : 本機の初期化ボタンです。
本機のパスワードや IP アドレスなどがわからなくなったりした時などに
工場出荷状態に初期化できます。
初期化手順は P.38 ページを参照してください。
- ③ DIG IN 端子 : センサー入力端子です。
各入力端子をコモン(C)とメイクするとクローズになります。
- ④ DIG OUT 端子 : センサー出力端子です。
(NC:通常時閉 NO:通常時開 C:コモン)
- ⑤ アース端子 : 本体のアース端子です。
故障や誤動作防止のため、アース線を接続してください。
- ⑥ 電源端子 : 本機専用 AC アダプター接続端子です。(DC6V/2A)
- ⑦ ケーブルクランプ : 配線固定用のクランプです。



PoE 給電 と ACアダプターは同時に接続しないでください。

PCの環境とWebブラウザー

動作を正常に行うために、以下のPC環境を満たす必要があります。

O/S	Windows®11 Professional 64 ビット日本語版
CPU	Intel® Celeron® 2.0GHz 以上推奨
メモリー	1GB 以上
インターフェース	10/100/1000Mbps のネットワークインターフェースを持っていること
推奨 Web ブラウザー	Microsoft® Edge® 140 64 ビット日本語版



PC のネットワーク設定は、お客様のネットワーク環境にあわせて設定頂く必要があります。
以降の設定は、Windows®11 Professional と Microsoft® Edge®140 にて行って
あります。

初期設定値について

本機の初期 IP アドレスは以下の通りです。

項目	初期設定値
IP アドレス	192.168.0.249
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1
ユーザー名	admin
パスワード	11111



ユーザー名／パスワードはセキュリティ確保のために、「管理者設定」で
変更を行い忘れないようにしてください。

Web ブラウザの操作

1. PC のWeb ブラウザを起動します。
2. 本機に設定してあるIP アドレスを、Web ブラウザのアドレスボックスに入力します。

http://[本機に設定してあるIP アドレス]

例) IP アドレス 192.168.0.249 のとき http://192.168.0.249



3. [Enter]キーを押すと、ログインの認証画面が表示されます。

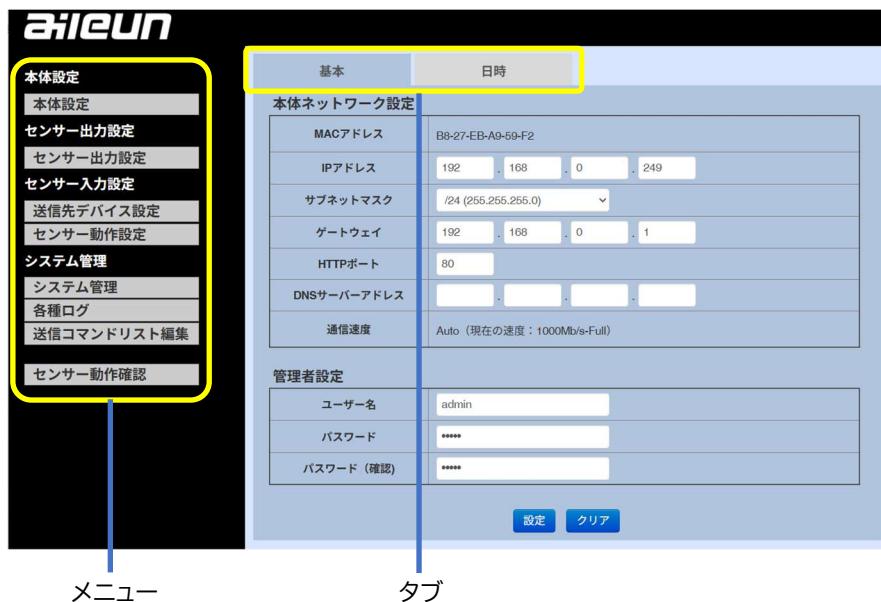


ユーザー名、パスワードを入力してください。

4. 認証後、設定画面が表示されます。



5. ブラウザ画面について



メニュー : 編集したい内容に合わせて各項目を選択します。

タブ : メニュー選択後に表示された内容に従い、各項目を選択します。



CGIコマンド送信中に設定変更を行うと、送信は中断されます。
設定変更を行うと、約10秒間はセンサー入出力の処理を行いません。

本機の設定を行う

本機の設定を行います。

■ 本体設定

本機のネットワーク設定・管理者設定・日時設定を行います。

メニューの「本体設定」を選択して画面を表示します。

■ 基本

本機のIPアドレス・管理者情報を設定します。

「基本」タブを選択します。



■ 本体ネットワーク設定

- | | |
|--------------|--|
| IP アドレス | : 本機の IP アドレスを入力します。 |
| サブネットマスク | : 本機のサブネットマスクを入力します。 |
| ゲートウェイ | : 本機のゲートウェイを入力します。 |
| HTTP ポート | : 本機に HTTP 接続するときの HTTP ポートを入力します。 |
| DNS サーバーアドレス | : 送信先デバイスや NTP サーバーのホスト名を解決するための DNS サーバーアドレスを入力します。 |

すべての設定が終わったら「設定」ボタンを押します。



本体ネットワークの設定を行うと、本機は自動で再起動します。
再起動後、変更した内容に従い Web ブラウザーでアクセスしてください。

■管理者設定

- ユーザー名 : 本機に HTTP 接続するときのユーザー名を入力します。
パスワード : 本機に HTTP 接続するときのパスワードを入力します。
パスワード(確認) : パスワードの確認入力です。

すべての設定が終わったら「設定」ボタンを押します。



ユーザー名・パスワード変更後は再度ログインしてください。

日時

本機の現在日時を設定します。

「日時」タブを選択します。



■現在日時

本機の現在日時を表示しています。

■日時設定

同期方法選択 : 日時設定の同期方法を選択します。

NTP サーバーから日時取得するときは「NTP を使用して日時を同期する」にチェックを付けます。

手動で日時を設定するときは「手動で日時を設定する」にチェックを付けます。

■NTP 設定

NTP サーバーアドレス：本機が日時を取得するための NTP サーバーアドレスを入力します。

NTP 取得状態：本機の現在の NTP 取得状態が表示します。

正常に取得できているときは「取得成功」と表示します。

■手動日時設定

日付：選択すると表示されるカレンダーから設定したい現在の日付を選択します。

時刻：24 時間表記にて現在の時刻を入力します

すべての設定が終わったら「設定」ボタンを押します。



「コンピューターの日時と同期」にチェックを付けると、使用している PC 時刻に同期することができます。

■ センサー出力設定

センサー出力コマンド受信時の動作を設定します。

メニューの「センサー出力設定」を選択して画面を表示します。



■センサー出力コマンド受信時動作

ユーザー認証：本機がセンサーコマンドを受信したときに、本機で HTTP によるユーザー認証を行うか行わないかを設定します。

送信側のデバイスにより、ユーザー認証が行えないときは「しない」を選択してください。

すべての設定が終わったら「設定」ボタンを押します。



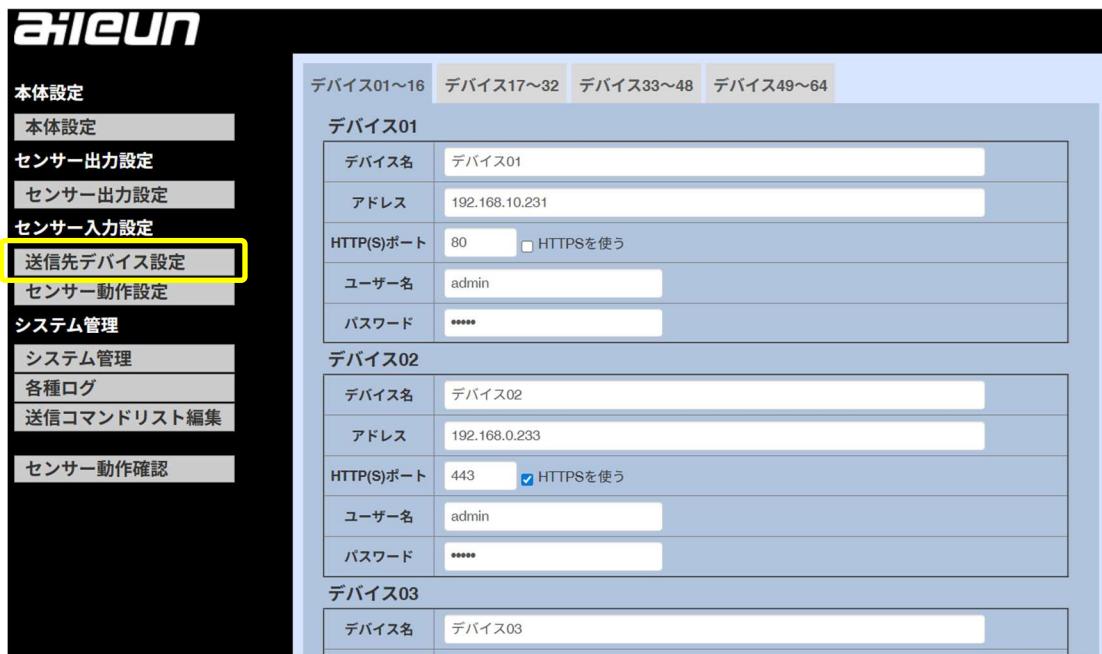
本機のセキュリティ確保のため、通常は「する」で使用してください。

■ 送信先デバイス設定

センサー入力があったときに、本機からCGIコマンドを送信する機器の登録を行います。

タブを選択することで最大64台登録することができます。

メニューの「送信先デバイス設定」を選択して画面を表示します。



■ デバイス01～64

- デバイス名 : 登録するデバイスの任意の名称を入力します。
登録した名称はセンサー動作設定や各種ログにて使用されます。
- アドレス : 登録するデバイスのアドレスを入力します。
- HTTP(S)ポート : 登録するデバイスのHTTP(S)ポート番号を設定します。
CGIコマンド送信時にHTTPSを使用するときは「HTTPSを使う」にチェックを付けます。
- ユーザー名 : 登録するデバイスのユーザー名を入力します。
- パスワード : 登録するデバイスのパスワードを入力します。

すべての設定が終わったら「設定」ボタンを押します。



HTTPSを使用してCGIコマンド送信を行うときに、本機はCA証明書の認証を行いません。



ユーザー名とパスワードを空欄で設定すると認証なしでCGIコマンドが送信できます

■ センサー動作設定

センサー入力時のCGIコマンド送信動作を設定します。

メニューの「センサー動作設定」を選択して画面を表示します。

設定を行うセンサーのタブを選択してから設定を行います。

センサー01～04 オープン→クローズ変化時動作

No.	制御対象	コマンド(待ち時間)
01	デバイス01	/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port1=on
02	待ち時間(秒)	60
03	デバイス01	/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port1=off
04	制御しない	/
05	制御しない	/
06	制御しない	/
07	制御しない	/
08	制御しない	/
09	制御しない	/
10	制御しない	/
11	制御しない	/
12	制御しない	/
13	制御しない	/
14	制御しない	/
15	制御しない	/
16	制御しない	/

■センサー01～04 オープン → クローズ 変化時動作

センサー入力 1～4 それぞれに信号が入ったときの動作を設定します。(メイク時動作)

センサーごとに最大16の動作を設定できます。

コマンドはリストの上から順に実行されます。

制御対象 : 「送信先デバイス設定」で設定したデバイス名を選択します。

また、「待ち時間(秒)」を選択することもできます。

コマンド(待ち時間) : 送信するコマンドまたは待ち時間を入力します。

「待ち時間(秒)」を入力するときは 1 ~ 120 の数値を入力してください。

すべての設定が終わったら「設定」ボタンを押します。



コマンドは、受信するデバイスにより異なります。
本機は、すべてのコマンドの実行を保証するものではありません。



事前にメニューの送信コマンドリスト編集で使用する CGI コマンド内容を登録しておくとコマンド (待ち時間)選択時に、データリストとして CGI コマンド内容を表示・選択することができます。

The screenshot shows the Hikvision device configuration interface. On the left, there is a sidebar with various menu items: 本体設定, センサー出力設定, センサー入力設定, 送信先デバイス設定, センサー動作設定, システム管理, システム管理, 各種ログ, 送信コマンドリスト編集, and センサー動作確認. The '送信コマンドリスト編集' item is highlighted. The main area is titled 'センサー-01 オープン→クローズ変化時動作'. It contains a table with 9 rows, each representing a command action. Row 01 has the URL: /axis-cgi/com/ptz.cgi?gotoserverpresetno=1&speed=100. Rows 02 through 09 have URLs starting with /cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?... followed by sensor-specific parameters. A callout box highlights the URLs for rows 03 through 09, which are identical except for the sensor number. The bottom of the table has '設定' and 'クリア' buttons.

No.	制御対象	コマンド (待ち時間)
01	デバイス01	/axis-cgi/com/ptz.cgi?gotoserverpresetno=1&speed=100
02	デバイス01	/
03	制御しない	/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?... AS-CC100 : センサー-01出力オン
04	制御しない	/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?... AS-CC100 : センサー-01出力オフ
05	制御しない	/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?... AS-CC100 : センサー-01出力反転
06	制御しない	/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?... AS-CC100 : センサー-01出力カット
07	制御しない	/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?... AS-CC100 : センサー-01出力カット
08	制御しない	/
09	制御しない	/

データリスト画面(参考)

センサー01～04 クローズ→オープン変化時動作

No.	制御対象	コマンド (待ち時間)
01	デバイス02	/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port2=on
02	待ち時間(秒)	10
03	デバイス02	/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port2=off
04	制御しない	/
05	制御しない	/
06	制御しない	/
07	制御しない	/
08	制御しない	/
09	制御しない	/
10	制御しない	/
11	制御しない	/
12	制御しない	/
13	制御しない	/
14	制御しない	/
15	制御しない	/
16	制御しない	/

■センサー01～04 クローズ → オープン 変化時動作

センサー入力 1～4 の入力信号が終了したときの動作を設定します。(ブレイク時動作)

最大16の動作を設定することができます。

コマンドはリストの上から順に実行されます。

設定内容は、「センサー01 オープン → クローズ 変化時動作」と同様です。

■ システム管理

本機の設定データのダウンロード・アップロード、設定初期化、ファームウエアのバージョンアップ、取扱説明書のダウンロード、本体 IP アドレス設定ツールのダウンロード、ログの初期化、サポートデータ取得などを行います。メニューの「システム管理」を選択して画面を表示します。

設定データ

設定データや送信コマンドリストのダウンロードや、本機の設定初期化ができます。

「設定データ」タブを選択します。



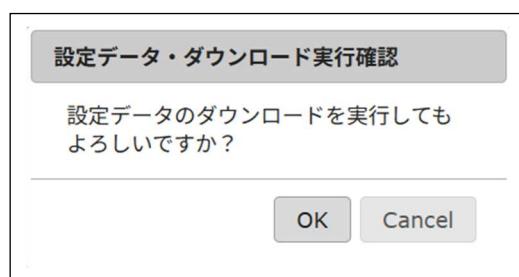
■ 設定

設定データのダウンロード、アップロードができます。

「送信コマンドリストを含める」にチェックを入れると、送信コマンド設定ファイルも同時にダウンロード、アップロードができます。

ダウンロード：設定ダウンロードの「実行」ボタンを押します。

「設定データ・ダウンロード実行確認」ダイアログが表示されますので、確認して「OK」ボタンを押すと設定データがダウンロードされます。

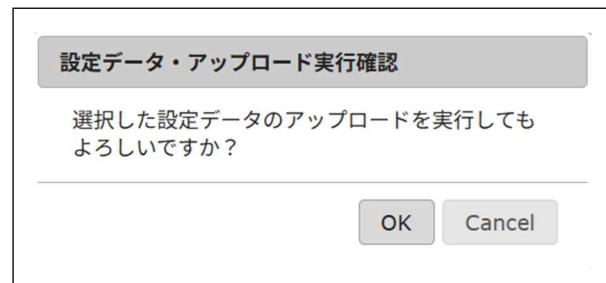


「設定データ・ダウンロード実行確認」ダイアログ

アップロード : select file を選択し、アップロードするファイルを選択します

「設定データ・アップロード実行確認」ダイアログが表示されますので、確認して「OK」ボタンを押すと設定データがアップロードされます。

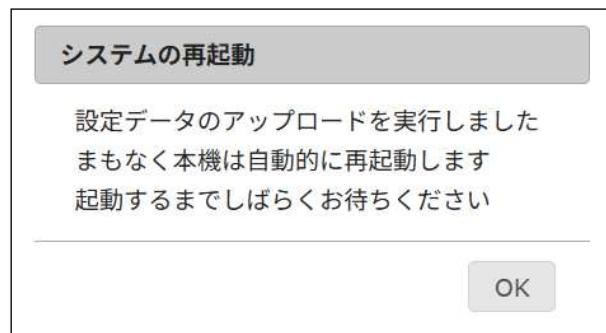
アップロードが完了すると、自動的に再起動します。



「設定データ・アップロード実行確認」ダイアログ

システムの再起動ダイアログが表示されますので、確認して「OK」ボタンを押します。

再起動するまで数分お待ちください。



「システムの再起動」ダイアログ

■送信コマンドリスト

送信コマンドリストは制御対象機器へ送信するコマンドを登録しているリストです。

最大 100 件 のコマンドが登録できます。

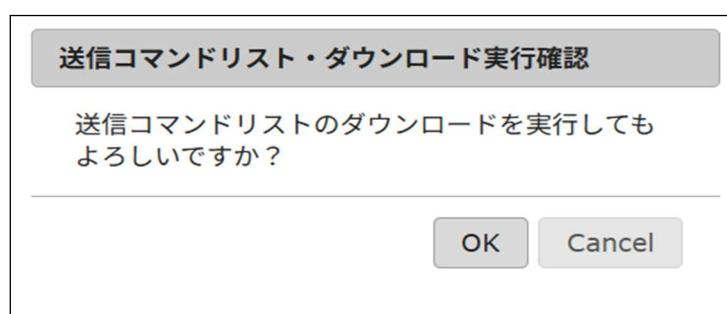
送信コマンドリストをダウンロード、アップロードできます。

ダウンロード：送信コマンドリスト ダウンロードの「実行」ボタンを押します。

「送信コマンドリスト・ダウンロード実行確認」ダイアログが表示されますので、

確認して「OK」ボタンを押すと

送信コマンドリストがダウンロードされます。

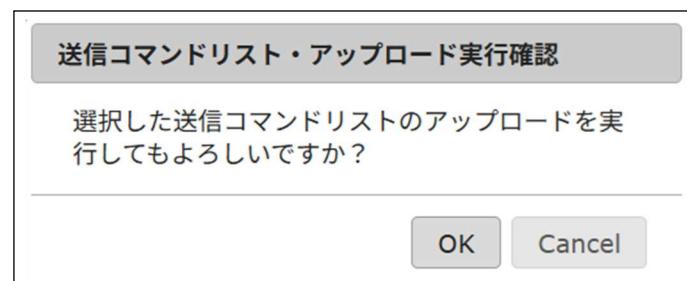


「コマンドデータ・ダウンロード実行確認」ダイアログ

アップロード：select file を選択し、アップロードするファイルを選択します

「送信コマンドリスト・アップロード実行確認」ダイアログが表示されますので、確認して

「OK」ボタンを押すと送信コマンドリストがアップロードされます。



「コマンドデータ・アップロード実行確認」ダイアログ

■設定初期化

本機の設定データを工場出荷状態に初期化します。

初期化には2つのモードがあります。初期化する内容にそってチェックを付けます。

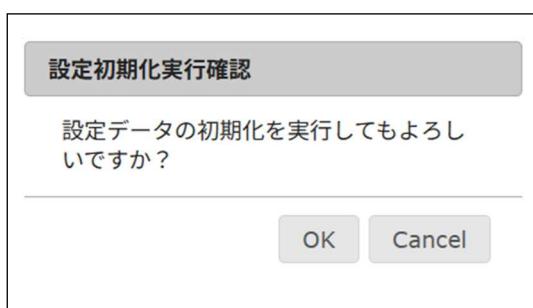
本機のネットワーク設定を除外する：本機のネットワーク設定を除いて初期化します。

送信コマンドリストを除外する：本機の送信コマンドリストを除いて初期化します。

設定初期化の「実行」ボタンを押します。

設定初期化実行確認ダイアログが表示されますので、確認して「OK」ボタンを押します。

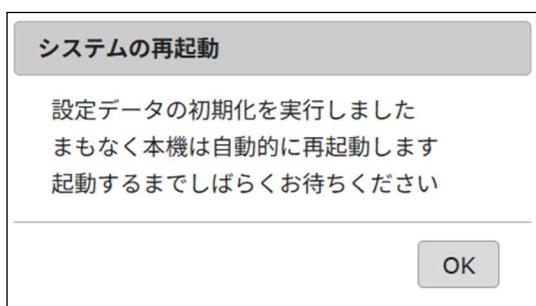
自動的に再起動します。



「設定初期化実行確認」ダイアログ

システムの再起動ダイアログが表示されますので、確認して「OK」ボタンを押します。

再起動するまで数分お待ちください。



「システム再起動」ダイアログ

メンテナンス

ファームウエアのバージョンアップ、取扱説明書や本体IPアドレス設定ツールのダウンロード、ログ初期化、

サポートデータの取得を行います。

「メンテナンス」タブを選択します。



■バージョンアップ

右上にある「Ver.x.x.x.x」が現在のバージョンです。

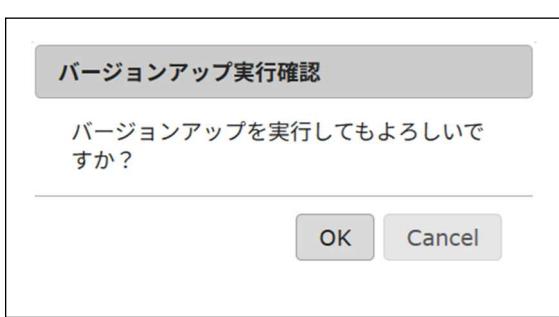
バージョンアップするファイルは現在のバージョンより新しいものを準備してください。

select file を選択し、バージョンアップするファイルを選択します。

バージョンアップの「実行」ボタンを押します。

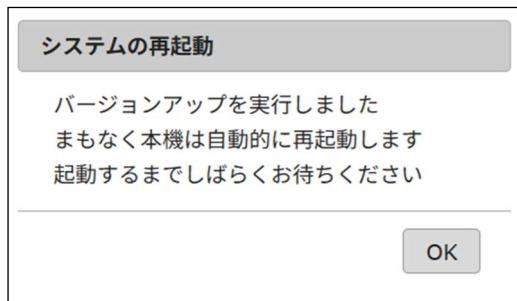
バージョンアップ実行確認ダイアログが表示されますので、確認して「OK」ボタンを押します。

自動的に再起動します。



「バージョンアップ実行確認」ダイアログ

システムの再起動ダイアログが表示されますので、確認して「OK」ボタンを押します。
再起動するまで数分お待ちください。



「システムの再起動」ダイアログ

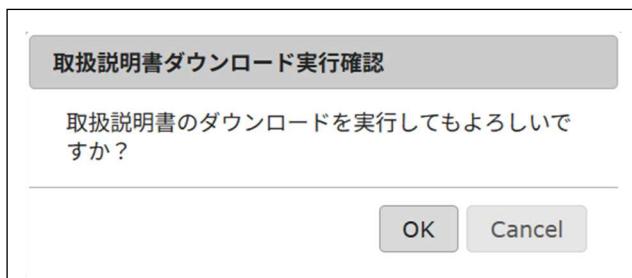
■各種ダウンロード

取扱説明書・本体 IP アドレス設定ツールをダウンロードします。

取扱説明書ダウンロード：本機の取扱説明書をダウンロードします。

取扱説明書ダウンロードの「実行」ボタンを押します。

「取扱説明書ダウンロード実行確認」ダイアログが表示されますので、確認して
「OK」ボタンを押します。

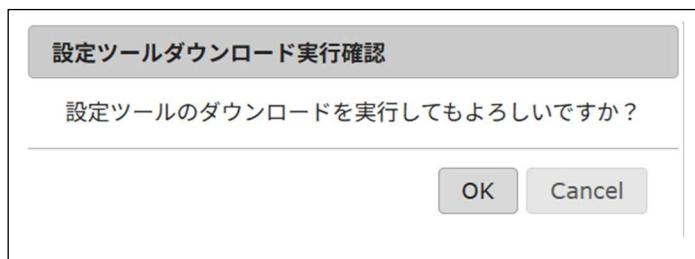


「取扱い説明書ダウンロード実行確認」ダイアログ

本体 IP アドレス設定ツールダウンロード：本機の IP アドレス設定ツールをダウンロードします。

本体 IP アドレス設定ツールダウンロードの「実行」ボタンを押します。

「設定ツールダウンロード実行確認」ダイアログが表示されますので、
確認して「OK」ボタンを押します。



「設定ツールダウンロード実行確認」ダイアログ



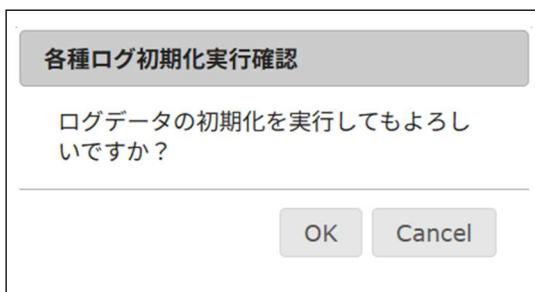
本体IPアドレス設定ツールについてはP. 39をお読みください。

■各種ログ初期化

デバイス接続ログ、センサー入出力ログを初期化します。

各種ログ初期化の「実行」ボタンを押します。

「各種ログ初期化実行確認」ダイアログが表示されますので、確認して「OK」ボタンを押します。



「各種ログ初期化実行確認」ダイアログ

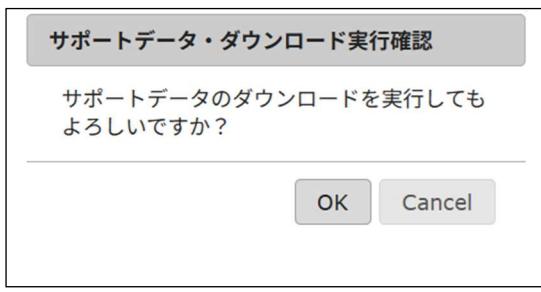
■サポートデータ取得

本機のサポートデータを取得します。

通常は使用することはありません。

サポートデータ取得の「実行」ボタンを押します。

「サポートデータ・ダウンロード実行」ダイアログが表示されますので、確認して「OK」ボタンを押します。



「サポートデータ・ダウンロード実行確認」ダイアログ

■ 各種ログ

デバイス接続状況のログやセンサー入出力状況のログの確認を行います。

メニューの「各種ログ」を選択して画面を表示します。

デバイス接続ログ

日時	デバイス名	ログ内容
2025/10/08 10:04:00	デバイス01	デバイス接続タイムアウト
2025/10/08 10:02:29	デバイス01	デバイス応答異常 (HTTP(S)ステータス: 404)
2025/10/08 10:00:10	デバイス01	デバイス認証失敗 (HTTP(S)ステータス: 401)
2025/10/08 09:59:35	デバイス01	デバイス接続失敗
2025/10/08 09:32:42	デバイス01	デバイス応答正常 (HTTP(S)ステータス: 200)

■デバイス接続ログ

本機と、登録された機器との制御のやり取りや、接続エラーなどのログ内容を確認することができます。

100件分のログを確認できます。

日時 : 接続動作が実行された日時が表示されます。

デバイス名 : 送信先デバイス設定で登録したデバイス名が表示されます。

ログ内容 : ログの内容が表示されます。

主に表示されるログ内容は以下となります。

デバイス応答正常 : 200~399 の HTTP(S)正常応答があったときに表示します。

(HTTP(S)ステータス:XXX) ※XXX はデバイスからの応答 HTTP(S)ステータス番号を表示します。

デバイス接続失敗 : デバイスとの通信が(Port が開いていないなど)接続できないときに表示します。
デバイスのアドレスやポートを確認してください。

デバイス接続タイムアウト : デバイスとの HTTP(S)通信ができず送信タイムアウトしたときに表示します。
デバイスのアドレスを確認してください。

デバイス応答異常 : 送信コマンドがデバイスで見つからなかったときに表示します。
(HTTP(S)ステータス:404) 送信コマンドの入力ミスがないか確認してください。

デバイス認証失敗 : デバイスの認証が失敗したときに表示します。
(HTTP(S)ステータス:401) 送信先デバイス設定のユーザー名やパスワードを確認してください。

センサー入出力ログ

The screenshot shows the aicen software interface. On the left is a sidebar with the following menu items:

- 本体設定
- センサー出力設定
- センサー入力設定
- 送信先デバイス設定
- センサー動作設定
- システム管理
- システム管理
- 各種ログ
- 送信コマンドリスト編集
- センサー動作確認

The "各種ログ" item is highlighted with a yellow box.

The main area has two tabs at the top: "デバイス接続ログ" and "センサー入出力ログ". The "センサー入出力ログ" tab is selected. Below it is a table titled "センサー入出力ログ" with columns "日時" and "ログ内容". The table contains 20 rows of log entries, each with a timestamp and a log message. The last entry is "2025/09/04 13:21:01 センサー03入力 (オープン)".

日時	ログ内容
2025/09/22 18:16:46	センサー01入力 (クローズ)
2025/09/22 18:16:41	センサー02入力 (オープン)
2025/09/22 18:16:32	センサー02入力 (クローズ)
2025/09/22 18:16:26	センサー01入力 (オープン)
2025/09/19 18:53:22	センサー01出力 (オン)
2025/09/19 18:52:35	センサー01出力 (オフ)
2025/09/19 18:50:46	センサー01出力 (オン)
2025/09/04 13:21:34	センサー03入力 (オープン)
2025/09/04 13:21:33	センサー03入力 (クローズ)
2025/09/04 13:21:33	センサー02入力 (オープン)
2025/09/04 13:21:32	センサー02入力 (クローズ)
2025/09/04 13:21:32	センサー01入力 (オープン)
2025/09/04 13:21:32	センサー01入力 (クローズ)
2025/09/04 13:21:04	センサー03入力 (オープン)
2025/09/04 13:21:03	センサー03入力 (クローズ)
2025/09/04 13:21:02	センサー04入力 (オープン)
2025/09/04 13:21:02	センサー04入力 (クローズ)
2025/09/04 13:21:01	センサー03入力 (オープン)

■センサー入出力ログ

センサー入力とセンサー出力の動作ログです。

本機のセンサー入力およびセンサー出力の動作ログ内容を確認できます。

100件分のログを確認できます。

日時 : センサー入力やセンサー出力が実行された日時が表示されます。

ログ内容 : センサー入出力のログ内容が表示されます。

■ 送信コマンドリスト編集

センサー動作設定の「コマンド(待ち時間)」でデータリストとして表示する送信コマンドリストの登録や編集、削除を行います。

最大 100 件のコマンドを登録することができます。

メニューの「送信コマンドリスト編集」を選択して画面を表示します。

コマンドリスト	
001	コマンド名 AS-CC100 : センサー-01出力オン
	コマンド /cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port1=on
002	コマンド名 AS-CC100 : センサー-01出力オフ
	コマンド /cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port1=off
003	コマンド名 AS-CC100 : センサー-01出力反転
	コマンド /cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port1=toggle
004	コマンド名 AS-CC100 : センサー-02出力オン
	コマンド /cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port2=on
005	コマンド名 AS-CC100 : センサー-02出力オフ
	コマンド /cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port2=off
006	コマンド名 AS-CC100 : センサー-02出力反転
	コマンド /cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port2=toggle
007	コマンド名 AS-CC100 : センサー-03出力オン
	コマンド /cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port3=on
008	コマンド名 AS-CC100 : センサー-03出力オフ
	コマンド /cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port3=off
009	コマンド名 AS-CC100 : センサー-03出力反転
	コマンド /cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port3=toggle
	コマンド名 AS-CC100 : センサー-04出力オン

■送信コマンドリスト

コマンド名 : CGIコマンドの任意の名称を入力します。

コマンド : CGI コマンドの内容を入力します。

すべての設定が終わったら「設定」ボタンを押します。



データリストの表示についてはP. 20をお読みください。

■ センサー動作確認

センサー入出力の状況確認や、センサー出力の実行、センサー入力の CGI コマンド送信動作の動作確認を行います。

メニューの「センサー動作確認」を選択して画面を表示します。



■センサー出力

- センサー : センサー出力番号です。
状態 : センサー出力の状態表示です。
現在の状況を確認するときは、「センサー状態更新」ボタンを押してください。
オン : 「実行」ボタンを押すと、出力をオンにします。
オフ : 「実行」ボタンを押すと、出力をオフにします。
トグル : 「実行」ボタンを押すと、センサー出力の受信時状態がオンのときはオフに変更し、受信時にオフのときはオンに変更します。

■センサー入力

- センサー : センサー入力番号です。
状態 : センサー入力の状態表示です。
現在の状況を確認するときは、「センサー状態更新」ボタンを押してください。
オープン→クローズ : 「実行」ボタンを押すと、センサー入力に オープン→クローズ 信号が入力されたときのセンサー動作を実行します。
クローズ→オープン : 「実行」ボタンを押すと、センサー入力に クローズ→オープン 信号が入力されたときのセンサー動作を実行します。

■ センサー入出力の接続

センサー入力

センサー入力は、コモンと接続することでオンとなります。

オープンコレクタ等で制御するときは、極性に注意してください。

コモン端子は共通です。



DIG IN 1 : センサー入力 1

DIG IN 2 : センサー入力 2

DIG IN 3 : センサー入力 3

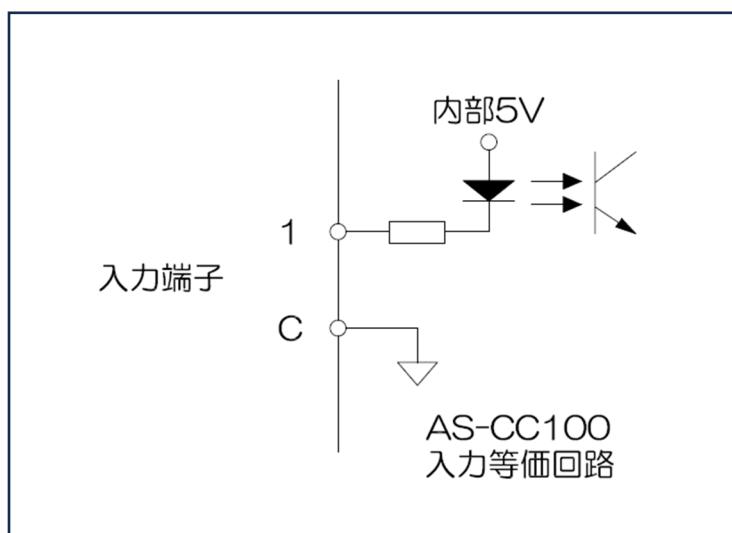
DIG IN 4 : センサー入力 4

DIG IN C : センサー入力 コモン(各入力共通)

端子台仕様 : プッシュイン式端子台 5 ピン

適用電線 : 24-16AWG(0.2-1.5 mm²)

電線剥きしろ : 7~8mm



センサー入力部等価回路



センサー入力部は、内部5V電源にてプルアップしていますので、外部から電圧を加えないでください。

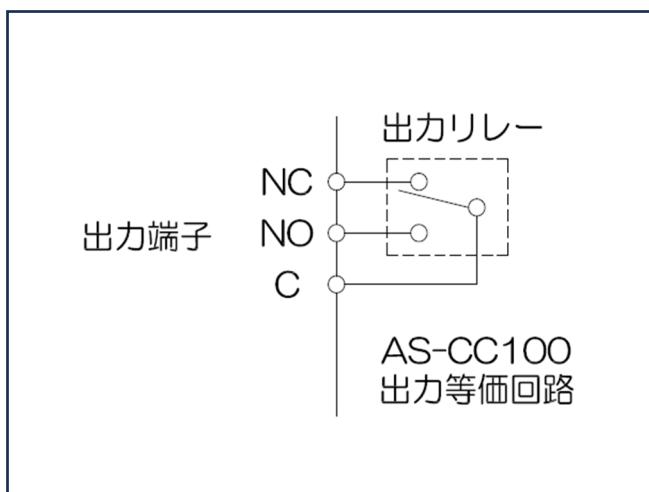
センサー出力

センサー出力端子は、各チャンネル独立しています。

DIG OUT			
1	2	3	4
N C O	N C O	N C O	N C O

- DIG OUT1 NC : 出力1 通常時閉
" NO : 出力1 通常時開
" C : 出力1 コモン
DIG OUT2 NC : 出力2 通常時閉
" NO : 出力2 通常時開
" C : 出力2 コモン
DIG OUT3 NC : 出力3 通常時閉
" NO : 出力3 通常時開
" C : 出力3 コモン
DIG OUT4 NC : 出力4 通常時閉
" NO : 出力4 通常時開
" C : 出力4 コモン

- 端子台仕様 : プッシュイン式端子台 12 ピン
適用電線 : 24-16AWG(0.2-1.5 mm²)
電線剥きシロ : 7~8mm

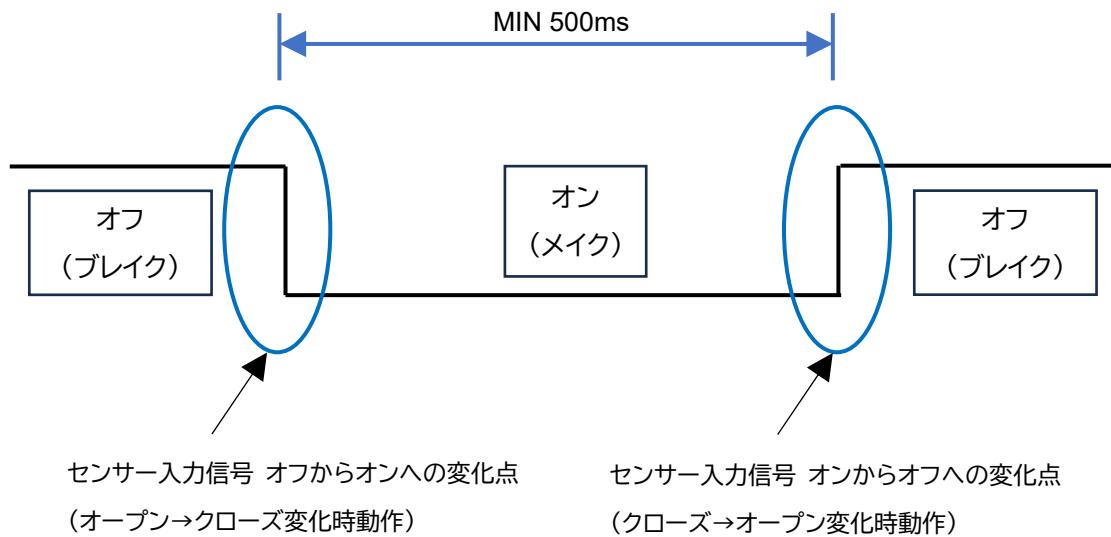


センサー出力部等価回路

■ センサー入力仕様

センサー入力信号は、500ms 以上のパルス幅が必要です。

また、信号のオン/オフ変化点でコマンドを送信します。



センサー動作実行中に、同一センサーの反転入力動作があったときは、現在実行中のセンサー動作を中断し、反転のセンサー動作を行います。

操作編

■ 電源を入れる・電源を切る

電源を入れる

本機に電源ボタンはありません。PoE 給電されると自動で起動します。

専用ACアダプターを使用しているときには、電源プラグを差し込んでください。

起動中は、電源LEDが点滅します。(起動には数分かかります)



専用ACアダプター以外は使用しないでください。
PoE 電源とACアダプターを同時に使用しないでください。



起動が完了するまではセンサー出力はオフとなります。
起動が完了してから、約10 秒間はセンサー入出力の処理を行いません。

電源を切る

PoE 給電で使用中は、LANケーブルを抜いてください。

専用ACアダプターを使用しているときは、ACアダプターを抜いてください。



電源が切られた状態では、センサー出力はオフとなります。

■ センサー信号の入力でCGIコマンドを送信する

1. 制御するデバイスを登録します。[送信先デバイス設定] P.18
2. センサー入力ごとに制御する内容を設定します。[センサー動作設定] P.19
3. Web 設定画面から動作テストを実行します。[センサー動作確認] P.32
該当するセンサー入力番号の動作条件にある「実行」ボタンをクリックすると、センサー入力を疑似的にテストできます。
設定動作に問題がないことを確認します。
4. 実際に該当のセンサー入力に信号を入力し、実動作の確認をします。

■ センサー信号を出力する

1. Web 設定画面から動作テストを実行します。[センサー動作確認] P.32
該当するセンサー出力番号の オン/オフ にある「実行」ボタンをクリックすると、出力リレーの オン/オフを制御できます。
トグルの「実行」をクリックすると現在の状態を反転することができます。
センサー出力に接続した機器の動作に問題がないことを確認します。
2. 制御する機器から本機へコマンドを送信します。
コマンドを受信し、センサー出力が正常に動作することを確認します。

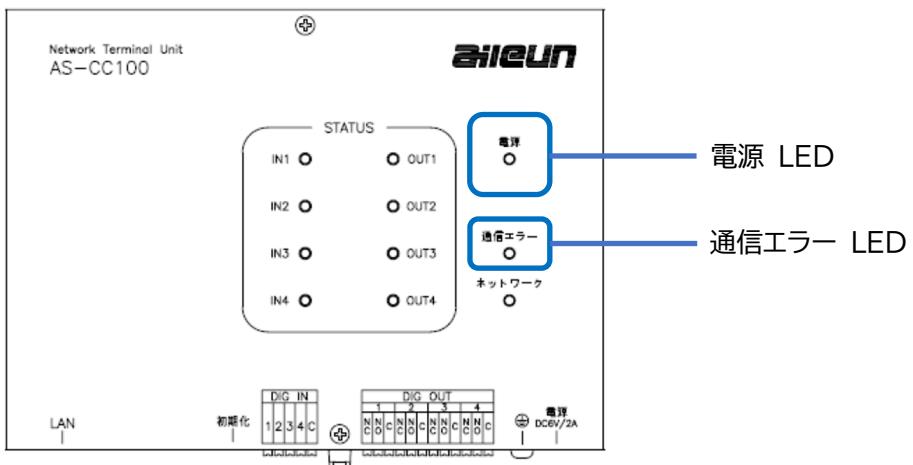
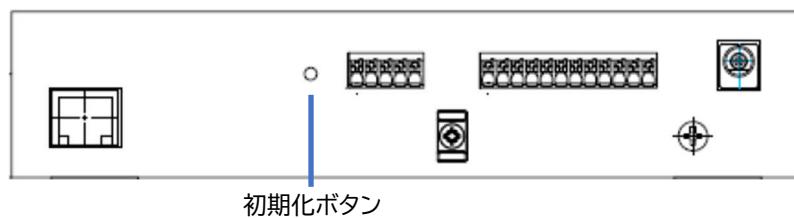
■ 動作状態を確認する

1. Web 設定画面から、本機の動作を確認できます。
2. [各種ログ] P.29 の内容から、センサーの入出力ログやネットワーク機器への通信状態を確認することができます。
3. [センサー動作確認] P.32 画面の「状態」欄で、現在のセンサー入力およびセンサー出力の状態を確認できます。
現状の状況を確認するときは、「センサー状態更新」ボタンを押してください。

■ 工場初期化

本機のパスワードを忘れてしまった場合にユーザー名・パスワードを初期化できます。

また、何らかの原因でIPアドレスの変更ができなくなった場合は、本機を工場初期化状態に戻すことができます。



初期化ボタンは軽く押してください。
初期化中はセンサー入力を受け付けません。

■ ユーザー名・パスワード 初期化手順

- ① 電源がオンの状態で、初期化ボタンを細いドライバーのようなもので押します。
- ② 15秒押し続けると通信エラーLED(赤)が点滅しますので、点滅してから15秒以内に初期化ボタンを離します。
- ③ ユーザー名・パスワードの初期化が完了します。

■ 工場初期化手順

- ① 電源をオフにします。
PoE給電時には、LANコネクターを抜いてください。
ACアダプター使用時には、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- ② 初期化ボタンを細いドライバーのようなもので押した状態で、本機の電源をいれます。
- ③ 電源LED(緑)が点滅から点灯に変わると、通信エラーLED(赤)が点滅しますので、初期化ボタンを離します。

本体IPアドレス設定ツール編

■ 設定ツールのインストール

本体IPアドレス設定ツール（以降 設定ツール）は、本機のWeb設定メニューからダウンロードできます。



1. 本機のWeb設定メニュー「システム管理」の「メンテナンス」タブにある
「本体IPアドレス設定ツールダウンロード」を実行します。
2. ダウンロードフォルダに「AS-CC100IpSettingInstaller.zip」ファイルがダウンロードされます。
3. ダウンロードしたファイルを解凍すると「AS-CC100IpSettingInstaller」フォルダの中に
「AS-CC100IpSettingInstaller.msi」ファイルが解凍されます。
4. AS-CC100IpSettingInstaller.msi ファイルを実行すると、インストールが開始されます。
5. インストールの指示を確認しながらインストールを行ってください。
6. インストールが完了すると、通常はデスクトップに下記のアイコンが作成されます。

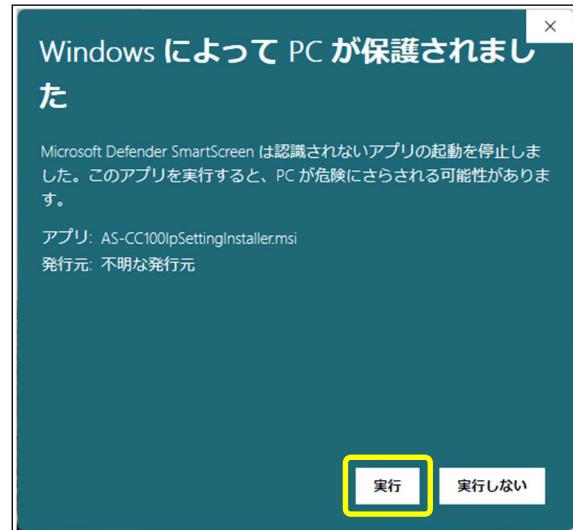




インストールの際に、Windows のセキュリティーメッセージがでたときは、「詳細情報」をクリックし
内容確認後「実行」ボタンを押すとインストールを継続できます。



「Windows セキュリティーメッセージ」

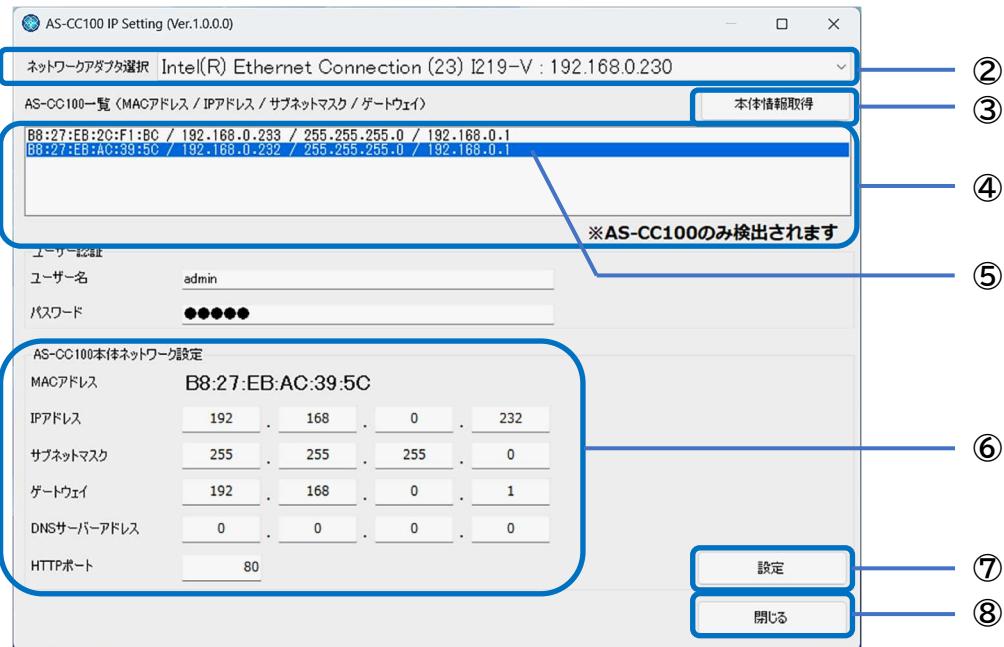


「Windows セキュリティーメッセージ 詳細情報」

■ 設定ツールの使い方

本体IPアドレス設定ツールを使用すると、同一ネットワーク上に設置された本機を検出し IP アドレスを設定することができます

検出は MAC アドレスで識別できますので、RJ-45 端子近くにあるMACアドレスシールで確認してください。



① デスクトップのアイコンを実行して本体 IP アドレス設定ツールを起動します。



② 本機がつながっているネットワークアダプターを選択します。

③ 「本体情報取得」ボタンを実行すると、同一ネットワーク上の本機を検出します。

検出された機器は、「AS-CC100 一覧」に表示されます。



本体IPアドレス設定ツールを起動した後にPCのネットワーク設定を変更したときは、
本体IPアドレス設定ツールを一度閉じて、再起動してください。

- ④ AS-CC100一覧には、機器ごとにMACアドレス、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイがリストで表示されます。
- ⑤ AS-CC100 一覧に表示された本機を選択すると、AS-CC100 本体ネットワーク設定に現在の設定値が表示されます。
- ⑥ AS-CC100 本体ネットワーク設定を編集します。

-
- ⑦ すべての設定が終わったら「設定」ボタンを押します。
 - ⑧ 設定ツールを終了するときは ⑧「閉じる」ボタンを押してください。

■ユーザー認証

ユーザー名：本機に現在設定されているユーザー名を入力します
パスワード：本機に現在設定されているパスワードを入力します

■AS-CC100 本体ネットワーク設定

IP アドレス : 本機に設定する IP アドレスを入力します。
サブネットマスク : 本機に設定するサブネットマスクを入力します。
ゲートウェイ : 本機に設定するゲートウェイを入力します。
DNS サーバーアドレス : 本機に設定する DNS サーバーアドレスを入力します。
HTTP ポート : 本機に設定する HTTP 接続するときの HTTP ポートを入力します。



本体IPアドレス設定ツールから本機の設定を変更すると、本機は自動で再起動します。
再起動後、変更した内容に従いアクセスしてください。



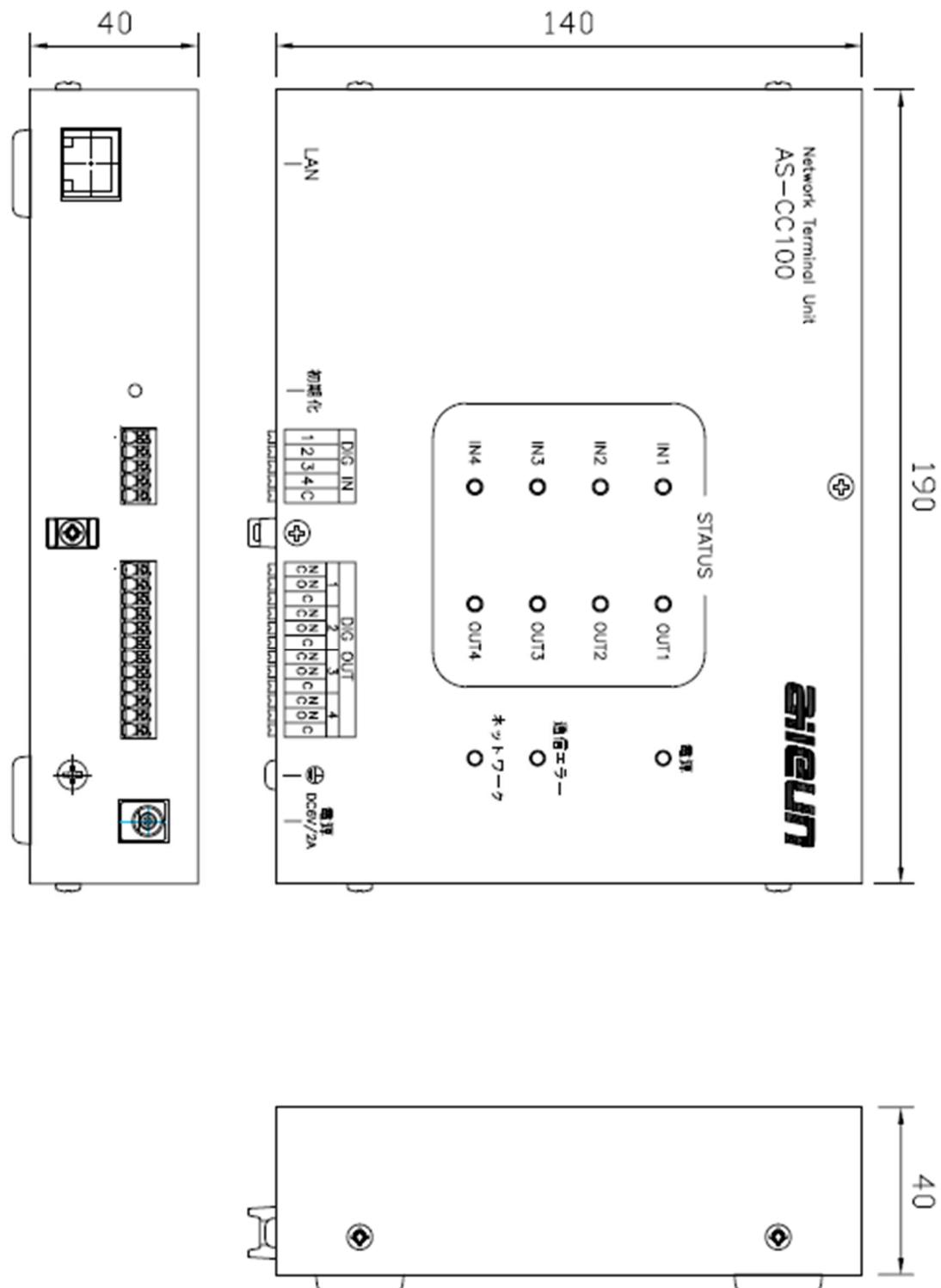
設定ツールでDNSサーバーアドレスに「0.0.0.0」を入力すると本体のDNSサーバーアドレスを空欄設定にできます。

付録

仕様

センサー入力 × 4点	無電圧メイク接点信号 または オープンコレクタ信号(極性あり) (フォトカプラによる絶縁、接点容量 DC5V 10mA 以下) COM 端子と信号端子をメイクすることにより動作。 フォトカプラの電源は、内部 5V 電源によるプルアップ。 プッシュイン式端子台 5 ピン 適用電線 : 24-16AWG(0.2-1.5 mm ²) 電線剥きしろ : 7~8mm 最小パルス幅 : 500ms 以上
センサー出力 × 4点	無電圧メイク接点信号 (NC, NO, COM) 最大定格:DC30V, 2A 以下(抵抗負荷) 初期接触抵抗 100mΩ 以下 プッシュイン式端子台 12 ピン 適用電線 : 24-16AWG(0.2-1.5 mm ²) 電線剥きしろ : 7~8mm
LAN I/F	RJ-45 100Base-TX/1000Base-T × 1
電源	PoE または 専用 AC アダプター DC44~57V(PoE IEEE802.3af Class0) 12.95Wmax DC6V 2A(専用ACアダプター) 12Wmax ※ AC アダプターはオプション(別売)
動作温度、湿度	0~50°C、10~90%(氷結及び結露なきこと)
固定方法	卓上 または 壁面取付
寸法・質量	幅 190mm × 高さ 40mm × 奥行 140mm(突起部・マウント金具等含まず) 約 0.9kg
材質・外観仕上げ	材質:亜鉛メッキ処理鋼板 (t=1.0) 塗装色:AS ホワイト半艶

■ 外観図



■ コマンド表

本機のセンサー出力やステータスを取得するコマンドです。

「<http://xxx.xxx.xxx.xxx>」以下に表のコマンドを続けてください。

センサー出力コマンド

センサー出力 受信コマンド		
出力番号	出力設定	コマンド
出力 1	オン	/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port1=on
	オフ	/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port1=off
	トグル	/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port1=toggle
出力 2	オン	/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port2=on
	オフ	/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port2=off
	トグル	/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port2=toggle
出力 3	オン	/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port3=on
	オフ	/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port3=off
	トグル	/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port3=toggle
出力 4	オン	/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port4=on
	オフ	/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port4=off
	トグル	/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port4=toggle

■出力番号

センサー出力端子の番号です

■出力設定

オン : 出力をオンにします

オフ : 出力をオフにします

トグル : センサー出力の受信時状態がオンのときはオフに変更し、受信時にオフのときはオンに変更します

■コマンド

各端子を制御するコマンドリストです

■コマンド送信例

(1) IP アドレス 192.168.0.249 の本機の出力端子1をオンにする場合

http://192.168.0.249/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port1=on

(2) IP アドレス 192.168.0.249 の本機の出力端子を下記の状態に一斉切替する場合

センサー出力 01:オン、センサー出力 02:オン、センサー出力 03:オフ、センサー出力 04:オフ

http://192.168.0.249/cgi-bin/sensor/setOutputPortState.php?output_port1=on&output_port2=on&output_port3=off&output_port4=off

MEMO

MEMO

アフターサービス

■ 無償修理規定

1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買上げの販売店またはお客様ご相談窓口にて、無償修理の受付をさせて頂きます。
2. 保証期間内でも、次の場合には有償修理となります。
 - (1) 保証書の提示がない場合
 - (2) 保証書に記入漏れがある場合、または字句が書き換えられた場合
 - (3) 使用上の誤り、他の機器から受けた損害、または特殊な設置環境、不当な修理やシステムの変更・改造による故障・損傷
 - (4) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、公害、異常電圧、定格外の使用電源などによる故障及び損害
 - (5) ご購入後の設置場所の移動、または落下などによる故障・損害
 - (6) 消耗品の交換費用
3. 故障その他による営業上の機会損失などの補償は致しかねます。
4. 修理の際にお預かりしたデータ、メモリーは喪失することがありますので、あらかじめご了承ください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

■ 修理を依頼されるときは

異常をご確認されたときは、ご使用をやめて電源を切り(LANコネクターまたはACアダプターを抜く)、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

- ・品名 : ネットワーク ターミナル ユニット
- ・型名 : AS-CC100
- ・お買い上げ日 : 年月日
- ・故障の状況 :
- ・使用している周辺機器（ハブ、接続している機器など）のメーカー名や品番など
- ・ご住所・お名前・電話番号

■ 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
規定に従いまして修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すればご使用できる場合には、
ご希望により有料で修理させていただきます。

■ お客様ご相談窓口のご案内

サポートサイトのご案内

<https://aileunsys.co.jp/as-cc100/>

お客様ご相談窓口

フリーダイヤル 0120-377-707

TEL【携帯・IP 電話】 045-532-6823

受付時間：月曜～金曜 9:00 ~ 17:00(祝祭日等を除く)

株式会社 エルーア・システム

〒224-0057 神奈川県横浜市都筑区川和町1542-2

<https://aileunsys.co.jp>

©2025 Aileun System Co.,Ltd.

ASCC100PA1A